

# もりやま景況調査



令和2年4月～令和2年6月期

| 昨年の同期との比較 |         |  |         |  |          |  |
|-----------|---------|--|---------|--|----------|--|
|           | 業況      |  | 売上高     |  | 採算(経常利益) |  |
|           | 4～6月期動向 |  | 4～6月期動向 |  | 4～6月期動向  |  |
| 全体        | ▲ 51.9  |  | ▲ 46.2  |  | ▲ 46.2   |  |
| 小売業       | ▲ 64.3  |  | ▲ 64.3  |  | ▲ 64.3   |  |
| 製造業       | ▲ 50.0  |  | 0.0     |  | ▲ 30.0   |  |
| 建設業       | ▲ 30.0  |  | ▲ 60.0  |  | ▲ 30.0   |  |
| サービス業     | ▲ 57.1  |  | ▲ 57.1  |  | ▲ 50.0   |  |
| 卸売業       | ▲ 50.0  |  | ▲ 25.0  |  | ▲ 50.0   |  |

| DI 指数              |  |
|--------------------|--|
| 30 以上              |  |
| 10 以上<br>30 未満     |  |
| ▲ 10 以上<br>10 未満   |  |
| ▲ 30 以上<br>▲ 10 未満 |  |
| ▲ 30 未満            |  |

※ 調査の結果を示す指標としてDI指数 (Diffusion Index (景気動向指数) の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差引いた数値) を用いた

令和2年4月～6月期の調査結果では、前回(令和2年1月～3月期)の数値と比較して、業況はほぼ横ばい、売上高は低下、採算は上昇という結果となった。(下記グラフ参照)

ただし、令和2年7月～9月期見通しは全ての指標で数値が低下しており、厳しい状況が続くと見込まれている。

<自由意見>

- ・ 事業ごとにコロナの影響などばらつきが非常に大きく、生産調整を実施せざるを得ない工場がある。
- ・ ベトナム海外研修終了生が帰国できない。生活支援などで困っている。
- ・ 当面の民間受注はコロナ前受注確定分で、今後発注元の資金難により遅れて影響が出る可能性が高い。
- ・ とにかく元の状態に戻らないと経営がもたない。
- ・ ゆっくりかまえて開き直った経営をしている。(一部抜粋)

その他、調査結果の詳細については当所ホームページをご覧ください。

<http://www.moriyama-cci.or.jp/management/survey.html>

